

主宰詠 花 _____ 2

◎句集特集3

青麗会員の2冊を読む

『野に眠る』権瓶玲子、『遊山箱』山川久美子 _____ 5

連載第3回 第2期 青華集 _____ 15

連載第8回 3月号の青華集を読む _____ 20

読んだ人…… 國本昌秀・清水容子

青麗集…… 高田正子選 _____ 24

言葉の玉手箱 _____ 44

選評と鑑賞…… 高田正子 _____ 45

連載 _____

●リレー連載 わたしの初学物語
第3回…… 原田桂子 _____ 表II

●俳句百名山 第15回
阿蘇山…… ジョニー平塚 _____ 48

●季語と虫たち 第3回
熊蜂と藤の花…… 北川谷戸乃 _____ 50

●「水草の発句を読む」第13回
鶯・雲雀…… 深沢真二 _____ 52

●お菓子な俳句 第15回
卯の花…… さとうかしこ _____ 54

お知らせのページ _____

例会・オンライン句会・入会案内 — 4

主宰の動向・青地巡礼のお知らせ — 14

句会のお知らせ _____ 55

編集後記 _____ 56

青麗文庫のご紹介 _____ 表III



青麗
ホームページ



YouTube
高田正子の俳句
添削ノート



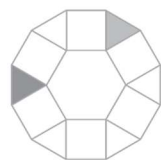
X
青麗歳時記
トピックス

無断転載禁止

表紙・本文デザイン 土屋みづほ

花

肩に傘あづけて春の雪仰ぐ
 春の雪母のためいきかもしれぬ
 穏やかな父の忌なれば春の雪
 待てば来る霞の底へゆく電車
 陽炎の橋を踏まねば行けぬ場所
 春塵に卷かるることも関ヶ原
 軋みつつ舟のゆきかふ霞かな
 花房に触れて舟着く川湊



高田正子

それぞれに旅支度して花の句座
 花追うてまた舟に乗る川湊
 山々のその谷々の桜かな
 東海道桑名の宿の恋雀
 跳ねながら数増えてゆく恋雀
 はまぐりのふたみを花と見て啜る
 堤防のうへ茫々と春の空

うららかや櫓ゆるの鍵守と名告らるる

かつて蟠龍櫓ばんりゆうの鍵預かりしと宣ふ媼あり。御年八十二